

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 山下萌

1. はじめに

2023年3月6日から3月16日まで国際交流基金の助成を受けて、オーストラリアニューサウスウェールズ州にあるキングスクリフのTAFEという専門学校にて薬学語学研修に参加しましたことを報告いたします。

2. 学校生活について

英語の授業では、日常会話やリスニング、オーストラリアの食べ物についてなどゲーム形式での授業だったので、楽しく学ぶことができました。発音の違いなどは声に出しながら学び、丁寧に教えていただきました。また、ホストファミリーとの会話でよく使われた言葉などをみんなで共有することで日常生活での言葉も学ぶことができました。

薬学の授業では、Griffith大学に行き、VRを取り入れた現地の大学での授業の体験や実験室を見せてもらったりしました。また、日本とは異なるオーストラリアの医療制度についてや薬局についてなど学びました。オーストラリアでは国民全員が医薬品を手に入れることができるようにPBS制度というものがあるということを学びました。

課外活動では、アボリジニについて学びました。

アボリジニが魚を釣る時に使う植物についてや虫よけとなる植物など様々な場面で使う植物について学びました。



3. ホームステイ先について

ホームステイは TAFE から車で 30 分ほどのところで、夫婦 2 人の家でした。なかなか英語で上手く伝えられない私にたくさんのお話をしてくれて、とても温かく迎え入れてくれました。毎日ドライブで様々な場所に連れて行ってもらい、休みの日には、お孫さんたちとカラビン動物園に行ったり、スプリングブルック国立公園など連れて行ってもらい、とても楽しませていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



4. 最後に

今回が初めてのホームステイだったため、不安がとても大きかったですが、ホストファミリーや滞在先の近所の人、英語の先生が温かく接してくれたことでとても楽しい毎日を送ることができました。英語が上手く話せなくても一生懸命話を聞いてくれたり、フレンドリーに接してくれたため、英語で伝えることの楽しさを感じ、もっと英語を話せるようになりたいと強く思いました。

10 日間ほどの短い期間のホームステイでしたが、たくさんのお話を学ばせていただいたので、ここで得た経験をこれからの自分につなげていこうと思います。

